

広報

くやま5

2017.5.1 VOL.1292 月号



特集 輝く新社会人

同級生で同じ職場に就職した新社会人の3人。新しい仕事着を身につけて、慣れない環境で毎日を過ごしながらも、先輩方に仕事を教わり立派な社会人を目指します。



元気に戻ることを願って＊サケ稚魚放流会

今年で記念すべき10回目となる「サケ稚魚放流会」が夕張川支流の雨煙別川で4月8日に行われました。初めに一般社団法人流域生態研究所の妹尾優二所長による栗沢頭首工魚道「サーモンロード」の効果や、サケの放流時期、遡上についての勉強会を開催。妹尾所長は「放流したサケ稚魚は遠い旅に出ます。サケが驚かないように、ゆっくりと川の水につけてから放流してください」と呼び掛けました。

その後、関係者や親子連れなど約100人がサケの稚魚約1万匹を「元気に戻ってきてね」と願いを込めて放流。お母さんと参加した伊東美紗さんは「勉強会は少し難しかったです。川の水は冷たかったけど、稚魚の放流は上手にできました。サケが早く上ってきてほしいです」と話していました。

- 【写真1】妹尾所長の話に耳を傾ける参加者
- 【写真2】稚魚をコップに入れてやさしく放流！
- 【写真3】栗山監督も開幕前に稚魚を放流
- 【写真4】放流前にしっかりと事前学習
- 【写真5】みんなで記念撮影

編集担当者のひとりごと

▼はじめまして。4月1日より教育委員会に配属された熊谷由香です。今年度から前任の北に代わってマナビイを担当することになりました。新採用なのでまだ右も左も分からない状況ですが、1日も早く仕事に慣れるよう頑張ります。分かりやすいマナビイを目指し努力しますので、これからよろしくお願いします。(熊谷)

▼特集記事作成のために新社会人の取材に行ってきました。都会への人口流出が止まらない若年世代ですが、偶然にも中学時代の同級生を取材することに。同世代がそれぞれの職場で活躍している話を聞くと良い刺激になりますね。これも広報マンとしての1つの醍醐味。ひとりごととも右から1年目、2年目、3年目の並びになりました。よろしくお願いします。(田畑)

▼全町一斉清掃と同日に行われた栗山青年会議所による国道のゴミ拾いの取材に行ってきました。1キロにも満たない距離でしたが、ゴミ袋が20袋以上でした。ゴミ拾いは行われませんでした。夕張川河川敷にも大量のごみがありました。サケが遡上してきている川の周りをごみだらけでは悲しすぎます。ごみのポイ捨てはやめて、きれいなまちになるように心掛けたいものです。(杉本)



人のうごき

平成29年4月1日現在 ()内は前月比
人口 12,153人 (-128) 男 5,645人 (-64) 女 6,508人 (-64) 世帯数 5,909 世帯 (-29)